

各 位

上場会社名 グラウンド・ファイナンシャル・アドバイザー株式会社  
 代表者 代表取締役 佐藤明彦  
 (コード番号 8783)  
 問合せ先責任者 取締役 平野公久  
 (TEL 03-5532-1031)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年1月26日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	145	△22	△37	△38	△2,525.76
今回修正予想(B)	64	△104	△118	△120	△7,976.07
増減額(B-A)	△81	△82	△81	△82	
増減率(%)	△55.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	78	△100	△98	△93	△6,222.64

#### 修正の理由

当社の主力業務であるストラクチャリング業務については、小額の物件を中心として不動産取引に動意がみられ、また、金融機関の貸出姿勢において次第に改善の兆しが見え始めておりましたが、スキーム組成ニーズに繋がる動きは限定的であり、厳しい受注環境が続いているため、見込み通りの案件獲得には至りませんでした。

また、アドバイザー業務につきましても、企業の資金調達に関する助言業務及び不動産仲介業務等に関して、上述の理由により、クロージングまでに至る案件は少数に留まりました。

利益面につきましては、固定費削減の取組みを継続して行っておりますが、営業収益の減少により、経常利益、当期純利益の予想をそれぞれ修正いたします。

今期につきましては、主力業務であるストラクチャリング業務収益の向上や、平成23年3月18日付「新規事業(不動産担保ローン事業)の開始に関するお知らせ」にありますとおり、当社の経営資源を効果的に活用していくため、不動産担保ローン事業を新規事業として立ち上げ、新たな事業の柱としていくことで、営業収益の回復を図り、黒字化を達成して参る所存です。

### ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年1月26日発表)	—	0.00	—	500.00	500.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成22年3月期)	—	0.00	—	500.00	500.00

#### 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要な課題と認識しており、事業基盤の強化と事業展開に必要な内部留保の充実を考慮しつつ、利益の成長に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。しかしながら、上述のとおり、通期業績につきまして、当初予定より損失が拡大する見込みであり、また、資金に関しましては、今後の事業展開に活用していくことが適切と判断し、誠に遺憾ながら当期末の配当を見送らせて頂きます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、今後の業績回復に向け努力をしまいる所存でございますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

\* 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上